

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	学校教育課
課 名	学校教育課

預算	款	項	目	決算書	
	10	3	2	208	頁

目 名
中学校教育振興費

事務事業名称
中学校教育振興事業

1. 概要

目的	たくましく感性豊かな生徒の育成や中学校における教育活動の充実及び教育の振興を図る	対象	市内全中学校生徒
事業概要	○中学校教育振興事業・・・中学校教育振興のための総務事業 [対象：市内全中学校] ①各種報酬・謝礼金、②事務経費、③補助金		
	○人権教育の進め方研究指定事業・・・人権教育の視点・手法・評価のあり方等について研究し生徒に人権教育の育成をはかった。 [指定校：犬飼中学校、対象生徒：84名]		
	○大分元気っ子体力パワーアップ事業・・・体育専科教員を中心に体育環境の整備や体育授業の充実を行い、子どもの体力向上や望ましい生活習慣の確立を図った。 [事業推進校：緒方中学校] ①謝礼金、②消耗品費		
	○武道教材備品整備事業・・・平成24年度から中学校教育課程で実施することとなった武道実施に向け教材を整備した。 [実施校：全中学校] 柔道選択(三重中、大野中)、剣道選択(清川中、緒方中、朝地中、千歳中、犬飼中) ①備品購入費 (柔道畳128枚、畳下クッション4枚、柔道着168枚、剣道防具169個、剣道袴1衣、竹刀立て5台)		

臨／経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	中学校教育振興事業	卒業式・体育祭記念品等	需用費	23,790	22,195				22,195	3
臨時	人権教育の進め方研究指定事業	研究授業の実施	需用費	250	250	250			0	1
	新規									
臨時	大分元気っ子体力パワーアップ事業	参加児童生徒数132名	需用費	125	125	125			0	1
臨時	武道教材備品整備事業	教材備品購入	備品購入費	7,000	6,945				6,945	1
	廃止									
臨時	理科教育設備整備事業									
臨時	チャレンジ体力パワーアップ事業									
臨時	学校図書館活用推進事業									
計				31,165	29,515	375	0	0	29,140	

2. 指標設定

成果指標	指標名		教育活動の充実		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値		—				豊かな心や感性豊かな子どもの育成のため、教育活動の充実をはかる			
活動指標	指標	a	図書購入費		b	教材費(理科設備含む)		c		
	数値	目標	—		目標	—		目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
教育活動の充実		—	—	—

活動指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
a 図書購入費	千円	2,453 千円	4,764 千円	2,523 千円
b 教材費(理科設備含む)	千円	6,656 千円	4,940 千円	8,396 千円
c				
d				

課題	
教育課程実施に必要な備品購入に多額の予算が必要となる	
対応（改善点等）	
一括購入、共同利用を推進する	

4. 課題と対応

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

決 算 額（千円）		H21	H22	H23	H24
		28,655	27,115	29,515	35,984
うち経常経費		23,448	22,481	22,195	34,797
財源内訳	国 費	2,500	2,061		500
	県 費	119	994	375	125
	市 債				
	そ の 他				
	一般財源	26,036	24,060	29,140	35,359
うち経常		23,448	22,481	22,195	34,797
事業費に係る人件費		3,627	4,161	4,300	2,147

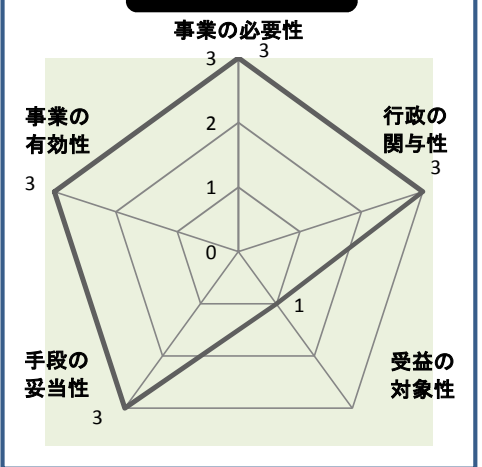
6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
学習指導要領を実施するための予算であり、個々の事業の精査は必要である

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	学習指導要領に基づく事業や基礎学力、基礎体力、豊かな人間性を育てる事業は必要
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1	対象校が限定される
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	手段は妥当である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	限られた予算の中で成果をあげている

分析グラフ



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き経費削減に努め、目標達成を図ること。